

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3単位	1年	必修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「COMET English Communication I」 <副教材> 数研出版「COMET English Communication I ベーシックノート」 桐原書店「データベース 1700 使える英単語・熟語 3rd Edition」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4 5	思い出に残っている経験を英語で述べる(CAN-DO R, S, W)	<ul style="list-style-type: none"> 書くこと 話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Get Ready! 1~3 Lesson1 Lesson2
	自分の好きなことについて英語で述べる (CAN-DO W, S) 【1学期中間考査】	<ul style="list-style-type: none"> 書くこと 話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	ワ 観	
単元(教材のLesson1, 2)終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う						
6	日本の文化を英語で紹介する(CAN-DO W, S)	<ul style="list-style-type: none"> 聞くこと 書くこと 話すこと [やり取り]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson3 Lesson4
	身の回りにあるピクトグラムを英語で紹介する(CAN-DO L, W, S) 【1学期期末考査】	<ul style="list-style-type: none"> 聞くこと 書くこと 話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	ワ 観	
単元(教材のLesson3, 4)終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う						
7 9	興味のある職業について英語で述べる (CAN-DO R, L, W)	<ul style="list-style-type: none"> 読むこと 聞くこと 書くこと 	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson5 Lesson6

10	自分の好きな店やよく行く店を英語で紹介する(CAN-DO S, L,W) 【2学期中間考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ パ	定 観	ワ パ	定 観	パ 観	
11	単元(教材の Lesson5, 6) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う							
	自分の学校を英語で紹介する(CAN-DO W, S)	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 観	定	ワ 観	定	ワ 観	Lesson7 Lesson8
12	生活を快適にするテクノロジーについて英語で述べる(CAN-DO L, W, S) 【2学期期末考査】	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと [発表]	ワ パ	定 観	ワ パ	定 観	パ 観	
	単元(教材の Lesson7, 8) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う							
1	食品廃棄を減らす取り組みについて英語で述べる(CAN-DO S, L,W)	・読むこと ・聞くこと ・話すこと [発表]	ワ 観	定	ワ 観	定	ワ 観	Lesson9 Lesson10
2	単元(教材の Lesson9) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う							
	地域のために自分なら何ができるかを英語で述べる(CAN-DO S, R,W) 【学年末考査】	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ パ	定 観	ワ パ	定 観	パ 観	
3	単元(教材の Lesson 10) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う							

主な評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 パ：パフォーマンステスト 発：発表 観：観察 など

CAN-DO リスト <第1学年>

聞くこと Listening	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	
読むこと Reading	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについて発表することができる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話することができる。
書くこと Writing	聞いたり読んだりした事、学んだ事や経験した事に基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。	

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4単位	2年	選択
選択条件	英語コミュニケーションⅠを履修した人			
対象者	2年生 進学系列			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅡ」 <副教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅡベーシックノート」 桐原書店「データベース 1700 使える英単語・熟語 3rd Edition」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理性に注意して詳しく表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4 5	行ってみたい場所について、英語で紹介する(CAN-DO R, S, W) 好きな写真について英語で紹介する(CAN-DO W, S) 【1学期中間考査】	・書くこと ・話すこと [やりとり]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson1 Lesson2
単元(教材のLesson1, 2)終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う						
6	世界の文化についての英語で紹介する(CAN-DO L, S) 【1学期期末考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson3 Lesson4
7	デジタル機器との関わり方について、自分の考えを英語述べるができる(CAN-DO L, W, S) 【1学期期末考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [発表]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	
単元(教材のLesson3, 4)終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う						
9	自分の目標を英語で述べるができる(CAN-DO R, L, S)	・読むこと ・聞くこと ・話すこと [やりとり]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson5 Lesson6

10	就きたい職業について英語で述べる ことができる(CAN-DO R, L, W) 【2学期中間考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
11	単元 (教材の Lesson5, 6) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					
	レジ袋撤廃運動など環境問題について賛成反対の立場で理由をつけて英語で述べる(CAN-DO L, W, S)	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson7 Lesson8
12	身の周りの問題の解決策や小さな工夫について、キーワードをもとにリテリングする(CAN-DO L, W, S) 【2学期期末考査】	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
1	単元 (教材の Lesson7, 8) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
2	人権の問題について、キーワードをもとにリテリングする(CAN-DO S, L, W)	・読む ・聞く ・話す [発表]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson11 Lesson12
	単元 (教材の Lesson11) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
3	世界で活躍する日本の中小企業について教科書を参考に短めの英作文をする(CAN-DO S, R, W) 【学年末考査】	・読む ・聞く ・書く ・話す [やりとり]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
	単元 (教材の Lesson 12) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					

主な評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 パ：パフォーマンステスト 発：発表 観：観察 など

CAN-DO リスト <第2学年>

聞くこと Listening	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。	
読むこと Reading	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。文章の構成を考えながら読むことができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについて説明や描写の表現に工夫して、相手に効果的に伝わるように発表することができる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話を一定の時間持続することができる。
書くこと Writing	聞いたり読んだりした事、学んだ事や経験した事に基づき、情報や考えなどについて、詳細にまとまりのある文章で書くことができる。	

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2/4単位	2年	選択
選択条件	英語コミュニケーションⅠを履修した人			
対象者	2年生 生活・福祉系列、ビジネス系列 (3年生での英語コミュニケーションⅡ 2単位 (計4単位) が継続履修となる)			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅡ」 <副教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅡベーシックノート」 桐原書店「データベース 1700 使える英単語・熟語 3rd Edition」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理性に注意して詳しく表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4	行ってみたい場所について、英語で紹介する(CAN-DO R, S, W) 【1学期中間考査】	・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 パ 観	Lesson 1
5	単元 (教材の Lesson 1) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
6	好きな写真について英語で紹介する(CAN-DO W, S) 【1学期期末考査】	・読むこと ・書くこと ・話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	Lesson 2
7	単元 (教材の Lesson 2) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					
9	世界の文化についての英語で紹介する(CAN-DO L, S) 【2学期中間考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 パ 観	Lesson 3
10	単元 (教材の Lesson 3) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					
11	デジタル機器との関わり方について、自分の考えを英語述べるができる(CAN-DO L, W, S) 【2学期期末考査】	・聞くこと ・読むこと ・話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	Lesson 4
12	単元 (教材の Lesson 4) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					

1	自分の目標を英語で述べる ことができる(CAN-DO R, L, S)	<ul style="list-style-type: none"> 読むこと 書くこと 話すこと [やりとり] 	ワ	定	ワ	定	ワ	観	Lesson 5
2									
3			【学年末考査】						
単元（教材の Lesson 5）終了後、「書くこと」のパフォーマンステストを行う									
単元（教材の Lesson 5）終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う									

主な評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 パ：パフォーマンステスト 発：発表 観：観察 など

CAN-DO リスト <第2学年>

聞くこと Listening	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりする 事ができる。	
読むこと Reading	説明や物語などを精読し、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについて相手に効果的に伝わるように工夫して発表できる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話を一定の時間の間続けることができる。
書くこと Writing	聞いたり読んだりした事、学んだ事や経験した事に基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。	

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2/4単位	3年	選択
選択条件	英語コミュニケーションⅠを履修した人			
対象者	3年生 生活・福祉系列、ビジネス系列 (2年生での英語コミュニケーションⅡ 2単位 (計4単位) の継続履修となる)			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「COMET English Communication Ⅱ」 <副教材> 数研出版「COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート」 桐原書店「データベース 1700 使える英単語・熟語 3rd Edition」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理性に注意して詳しく表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4	就きたい職業について英語で述べる ことができる(CAN-DO R, L,W) 【1学期中間考査】	・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 観	Lesson 6
5	単元(教材の Lesson 6) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
6	レジ袋撤廃運動など環境問題について賛成反対の立場で理由をつけて英語で述べる(CAN-DO L,W,S) 【1学期期末考査】	・読むこと ・書くこと ・話すこと	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 観	Lesson 7
7	単元(教材の Lesson 7) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					
9	身の周りの問題の解決策や小さな工夫について、キーワードをもとにリテリングする(CAN-DO L, W, S) 【2学期中間考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 観	Lesson 8
10	単元(教材の Lesson 8) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					
11	人権の問題について、キーワードをもとにリテリングする(CAN-DO S, L,W) 【2学期期末考査】	・聞くこと ・読むこと ・話すこと [発表]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 定 観	Lesson 11
12	単元(教材の Lesson 11) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					

1	世界で活躍する日本の中小企業について教科書を参考に短めの英作文をする (CAN-DO S, R, W)	<ul style="list-style-type: none"> 書くこと 読むこと 聞くこと 話すこと [やりとり] 	ワ	定	ワ	定	ワ	観	Lesson 12
2			ワ	観	ワ	観			
3			【学年末考査】						
単元（教材の Lesson 12）終了後、「書くこと」のパフォーマンステストを行う									
単元（教材の Lesson 12）終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う									

主な評価方法

ワ : ワークシート・ノート
提 : 提出物
定 : 定期考査
パ : パフォーマンステスト
発 : 発表
観 : 観察 など

CAN-DO リスト <第3学年>

聞くこと Listening	長めの事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりする事ができる。	
読むこと Reading	長めの説明や物語などを精読し、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについてまとめ、相手に効果的に伝わるように工夫して発表できる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話を長く続けることができる。
書くこと Writing	聞いたり読んだりした事、学んだ事や経験した事に基づき、情報や考えなどについて、量のあるまとまりのある文章を書くことができる。	

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4単位	3年	選択
選択条件	英語コミュニケーションⅡを履修した人			
対象者	3年生 進学系列			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅢ」 <副教材> 数研出版「COMET English CommunicationⅢベーシックノート」 桐原書店「データベース 1700 使える英単語・熟語 3rd Edition」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図や話や文章の展開などを的確に理解したり、これらを活用して論理性に注意して詳しく表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4 5	自分が住む国や地域の祭りを英語で紹介する(CAN-DO R, S, W) 自然から学んだ技術を英語で紹介する(CAN-DO W, S) 【1学期中間考査】	・書くこと ・話すこと [やりとり]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson1 Lesson2
単元(教材の Lesson 1, 2) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う						
6	消費行動について、自分の考えを英語で述べる。(CAN-DO L, S) 人と動物の関わり方について、自分の考えを英語で述べる。(CAN-DO L, W, S) 【1学期期末考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson3 Lesson4
単元(教材の Lesson3, 4) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う						
7 9	将来の職業や働き方について、自分の考えを英語で述べる。(CAN-DO R, L, S)	・読むこと ・聞くこと ・話すこと [やりとり]	□ 定 □ 観	□ 定 □ 観	□ 観	Lesson5 Lesson6

10	何かに挑戦して人々に影響を与えた人物を、英語で紹介する。(CAN-DO R, L, W) 【2学期中間考査】	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
11	単元 (教材の Lesson5, 6) 終了後、「書くこと」のパフォーマンステストを行う					
	資源や環境の問題について、自分の考えを英語で述べる。(CAN-DOL, W, S)	・聞くこと ・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson7 Lesson8
12	観光地ドレスデンが下した決断について知り、キーワードをもとにリテリングする。(CAN-DO L, W, S) 【2学期期末考査】	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
1	単元 (教材の Lesson7, 8) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
	レジリエンスについて、キーワードをもとにリテリングする。(CAN-DO S, L, W)	・読む ・聞く ・話す [発表]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson11 Lesson12
2	単元 (教材の Lesson9) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う					
	世界の児童労働の問題について知り、自分の意見を英語でまとめる。(CAN-DO S, R, W) 【学年末考査】	・読む ・聞く ・書く ・話す [やりとり]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	パ 観	
3	単元 (教材の Lesson9, 10) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う					

主な評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 パ：パフォーマンステスト 発：発表 観：観察 など

CAN-DO リスト <第3学年>

聞くこと Listening	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、要点や詳細を正確にとらえたりすることができる。未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。	
読むこと Reading	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を正確にとらえたりすることができる。文章の構成を考えながら読むことができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについて説明や描写の表現に工夫して、相手に正確に伝わるようにまとめ発表することができる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話を長い時間にわたって行うことができる。
書くこと Writing	聞いたり読んだりした事、学んだ事や経験した事に基づき、情報や考えなどについて、詳細にまとまりのある量をともなった文章で書くことができる。	

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
外国語	論理・表現 I	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列			
取得資格				
学習のアドバイス	英語は毎日学習することが大切です。「授業→復習」の習慣を身につけるため、家庭学習をしましょう。復習では理解できた内容を声に出して音読すると効果的に覚えられます。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「BIG DIPPER English Logic and Expression I」 <副教材> 数研出版「BIG DIPPER English Logic and Expression I レッスンブック」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働き, 論理の構成や展開及び表現などについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働き, 論理の構成や展開及び表現などの知識を, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 聞いたことを読みながら, 論理の構成や展開を工夫して, 情報や考えなどを適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

月	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等
			知・技	思・判・表	主体的	
4	「～である [ない]」「～ですか [しますか]」などを英語で表現できる (CAN-DO S, W) 「～する [している]」「～した [していた]」などを英語で表現できる (CAN-DO W, S)	・書くこと ・話すこと [やりとり]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson 4 Lesson 5
5	未来で行うことについて, 英語で表現できる。 (CAN-DO W, S) 現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。 (CAN-DO S, W) 【1学期中間考査】	・書くこと ・話すこと [発表]	ワ 定 パ 観	ワ 定 パ 観	ワ 観	Lesson 6 Lesson 7
単元 (教材の Lesson 4,5,6,7) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う						
6	能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。 (CAN-DO W, S) 必要・義務や, 過去についての推量・後悔などの意味を英語で表現できる。 (CAN-DO W, S)	・書くこと ・話すこと [やり取り]	ワ 定 観	ワ 定 観	ワ 観	Lesson 8 Lesson 9

	<p>「～は・・・に見える」「～に・・・を与える」「～を・・・にする」などを英語で表現できる。(CAN-DO S, W)</p> <p>「～される [されない]」「～に満足している」などを英語で表現できる。(CAN-DO W, S)</p>	<p>・書くこと ・話すこと [発表]</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>パ 観</p>	<p>Lesson 10 Lesson 11</p>
<p>【1学期期末考査】</p> <p>単元 (教材の Lesson 8,9,10,11) 終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステスト</p>						
7 9	<p>「～すること」「～する方法」「～するための・・・」などを英語で表現できる。(CAN-DO W, S)</p> <p>「～するために」「・・・に～するように頼む」「・・・が～するのを見る」などを英語で表現できる。(CAN-DO S, W)</p>	<p>・書くこと ・話すこと [やりとり]</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 観</p>	<p>Lesson 12 Lesson 13</p>
10	<p>「～すること」などを英語で表現できる。(CAN-DO W, S)</p> <p>「～している [された]・・・」「～しに行く」などを英語で表現できる。(CAN-DO S, W)</p>	<p>・書くこと ・話すこと [やり取り]</p> <p>・書くこと ・話すこと [発表]</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>パ 観</p>	<p>Lesson 14 Lesson 15</p>
<p>【2学期中間考査】</p> <p>単元 (教材の Lesson 12,13,14,15) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う</p>						
11	<p>2つのものを比べて、「同じくらい～」「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。(CAN-DO W, S)</p> <p>「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。(CAN-DO S, W)</p>	<p>・書くこと ・話すこと [やり取り]</p> <p>・書くこと ・話すこと [発表]</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 観</p>	<p>Lesson 16 Lesson 17</p>
	<p>「～する人/物」「・・・が～する人/物」などを英語で表現できる。(CAN-DO W, S)</p> <p>「・・・が～すること」「・・・が～する場所 [時]」などを英語で表現できる。(CAN-DO S, W)</p>	<p>・書くこと ・話すこと [発表]</p> <p>・書くこと ・話すこと [やり取り]</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>ワ 定 パ 観</p>	<p>パ 観</p>	<p>Lesson 18 Lesson 19</p>
<p>【2学期期末考査】</p> <p>単元 (教材の Lesson 16,17,18,19) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行</p>						
12	<p>事実と異なる状況 [願望など] を英語で表現できる(CAN-DO S, W)</p>	<p>・書く ・話す [発表]</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 定 観</p>	<p>ワ 観</p>	<p>Lesson 20</p>
<p>単元 (教材の Lesson 20) 終了後、「話すこと [発表]」のパフォーマンステストを行う</p>						

1	名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。(CAN-DO S, W)	・書く ・話す [やりとり]	ワ パ	定 観	ワ パ	定 観	パ 観	Lesson 21
2	【学年末考査】							
単元（教材の Lesson21）終了後、「話すこと [やりとり]」のパフォーマンステストを行う								
3								

主な評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 パ：パフォーマンステスト 発：発表 観：観察 など

CAN-DO リスト <第3学年>

話すこと Speaking	発表 Presentation	聞いたり読んだりした事、学んだことや経験した事に基づき、情報や考えなどについてまとめ相手に正確に伝わるように発表することができる。
	やり取り Interaction	聞いたことに反応したり、さらに詳しく聞く質問をするなど、理解を伴った対話を長時間にわたって行うことができる。
書くこと Writing	主題を決め、様々な種類の文章を書くことができる。文章の構成を考えながら書くことができる。書いた内容を読み返して、推敲することができる。	